

本調査研究会では、磁場発生や磁場応用に関連する分野の最前線で活躍されている旬の研究者、今後の飛躍が期待される若手研究者、長らく活動されていらっしゃった先生方に、じっくりお話を伺う機会を作っています。今年度の第 1 回研究会では、本年 3 月に広島大学を定年された藤原昌夫先生にご講演いただけることになりました。藤原先生にはこれまでに取り組んでこられた磁場配向と磁気分離に関するご研究を振り返って頂く予定です。当日は、このトピックスについて、基礎からわかりやすく解説頂ける予定です。

できるだけじっくりとお話を伺い、議論するため、講演時間を長めにとっています。またとない機会ですので、是非、ご参加いただければと思います。

本研究会は実会場と Web とのハイブリッド開催となります。
参加ご希望の方は以下の Google Forms からご登録ください。
Web 参加の方には、追ってアクセス情報をご案内します。

参加登録：<https://forms.gle/fekshyLHPEZVNiq8>

日 時：2024 年 7 月 29 日(月) 13:30~15:00

実会場：大阪大学大学院 工学研究科 A1 棟 117 号室

(〒565-0871 大阪府吹田市山田丘2-1)

<http://www.eng.osaka-u.ac.jp/ja/access/>

13:30~15:00 磁気配向と磁気分離 – その考え方

藤原 昌夫 (広島大)

磁気配向，磁気分離。古い用語です。それだけに半生を掛けて携わって来ました。私たちの対象は、主に液相における弱磁性の分子とイオンです。これらの分子やイオンの磁気エネルギーは、熱エネルギーに比べて十分小さいため、分子やイオンは熱攪乱を受けて、磁場によって向きを変えたり、移動したりは出来ないと考えられていました。しかし、実際には、磁場で配向し、分離します。何故。その仕組みについて、理論と実験の両面から、私なりの定量的な解釈をお話しします。

参加費：無料

世話人：秋山庸子 (阪大) yoko-ak@see.eng.osaka-u.ac.jp

池添泰弘 (日工大) y.ikezoe@nit.ac.jp

諏訪雅頼 (阪大) msuwa@chem.sci.osaka-u.ac.jp

廣田憲之 (NIMS) hirota.noriyuki@nims.go.jp